

GIDWR 岐阜県感染症発生動向調査週報

2014 年第 23 週

(6/2~6/8)

5 月報合併号

Gifu Infectious Diseases Weekly Report

岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

- ◇ 先週に引き続き、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱が増加しています。→トピックス
- ◇ 水痘、手足口病も増加傾向ですので動向に注意が必要です。

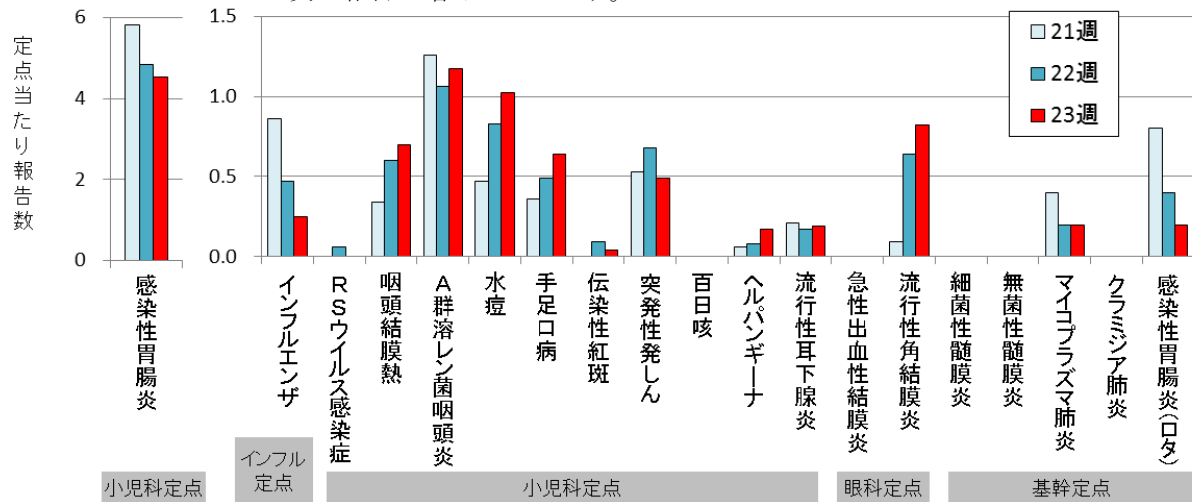
■ 定点把握対象疾患（インフルエンザ 定点:87 か所、小児科定点:53 か所、眼科定点:11 か所、基幹定点:5 か所）

● 警報・注意報レベルの保健所がある疾患

	疾患名	保健所名（定点当たり報告数）
警報レベル	なし	—
注意報レベル	なし	—

● 直近 3 週の比較

・咽頭結膜熱、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘、手足口病、流行性角結膜炎の報告が増加しています。



■ 全数把握対象疾患

● 今週届出分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 4 例
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例（O157）
- 4 類感染症：なし
- 5 類感染症：アメーバ赤痢 1 例、ジアルジア症 1 例

● 2014 年累計

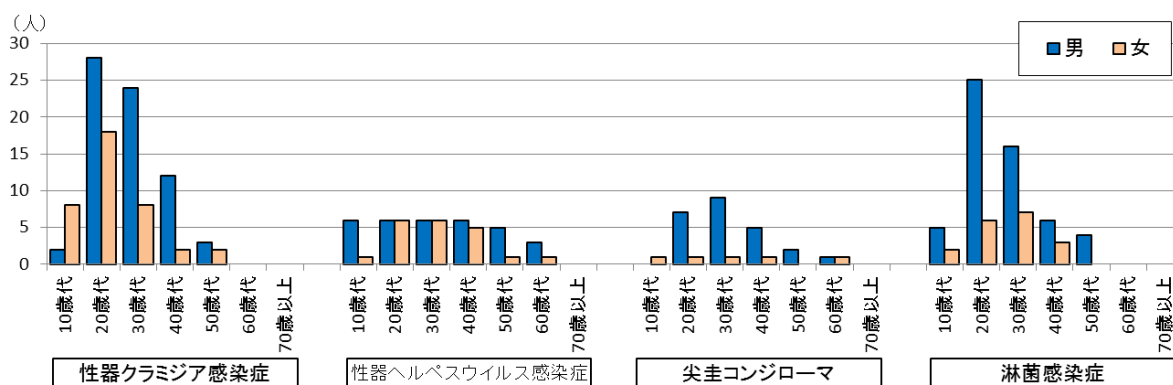
1 類感染症	なし		
2 類感染症	結核	167 例	
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	10 例	
4 類感染症	E 型肝炎	3 例	デング熱 1 例
	A 型肝炎	1 例	マラリア 1 例
	つつが虫病	1 例	レジオネラ症 8 例
5 類感染症	アメーバ赤痢	5 例	侵襲性肺炎球菌感染症 12 例
	急性脳炎	1 例	梅毒 2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例
	後天性免疫不全症候群	5 例	風しん 1 例
	ジアルジア症	1 例	麻しん 2 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4 例	

■月報告定点把握対象疾患 <5月>

●性感染症（STD定点：15か所）

疾患名	報告数（定点当たり）					
	5月	男	女	4月	3月	2月
性器クラミジア感染症	23 (1.53)	15	8	23 (1.53)	19 (1.36)	23 (1.64)
性器ヘルペスウイルス感染症	6 (0.40)	3	3	12 (0.80)	14 (1.00)	10 (0.71)
尖圭コンジローマ	8 (0.53)	6	2	4 (0.27)	5 (0.36)	7 (0.50)
淋菌感染症	11 (0.73)	8	3	12 (0.80)	20 (1.43)	15 (1.07)

年齢階級別報告数（2014年1月～5月累計）



●薬剤耐性菌感染症（基幹定点：5か所）

疾患名	5月報告数 (定点当たり)	年齢群等
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	10 (2.00)	60歳代 1例、70歳以上 9例
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	なし	—
薬剤耐性緑膿菌感染症	1 (0.20)	60歳代 1例
薬剤耐性アシネトバクター感染症	なし	—

■病原体検出情報速報

病原体定点等から提出された検体の病原体（遺伝子を含む）検索結果（5月9日～6月12日結果判明分）

臨床診断名	病原体名	検出数 (人)	検体採取年月
腸管出血性大腸菌感染症	腸管出血性大腸菌(O157:H7 VT2)	2	2014年5月
	腸管出血性大腸菌(O26:H11 VT1)	1	2014年5月
	腸管出血性大腸菌(O111:H- VT1&2)	1	2014年5月
レジオネラ症	レジオネラ・ニューモフィラ 血清群 1	2	2014年5月

全国情報は国立感染症研究所感染症疫学センターのHPをご覧ください。

感染症発生動向調査週報（IDWR） <http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr.html>

病原微生物検出情報（IASR） <http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html>

■トピックス

《A群溶血性レンサ球菌咽頭炎》

◆ 増加中です！

A群溶血性レンサ球菌の感染による発熱とのどの痛みを特徴とする疾患です。

県内では、4月中旬以降報告数が増加しており、過去2年とほぼ同様の動向となっています。

県内各地域で増加していますが、今週は関保健所管内で定点あたり3.40人と特に多く報告されています。

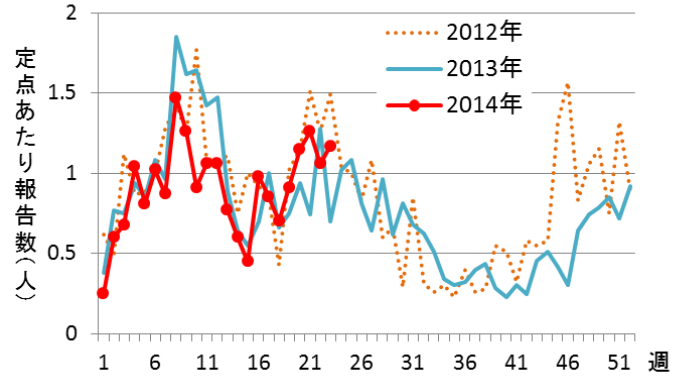
患者の年齢は、3～6歳で多くなっています。

◆ 手洗い・うがいを励行しましょう。

原因となる菌は患者の鼻水や唾液に排出され、飛沫感染（咳やくしゃみのしぶきを吸い込む）や接触感染（菌のついた手で口や鼻を触る）により感染が拡大します。

手洗い・うがいを励行し、兄弟など身近に患者がいる場合は濃厚な接触は避けましょう。

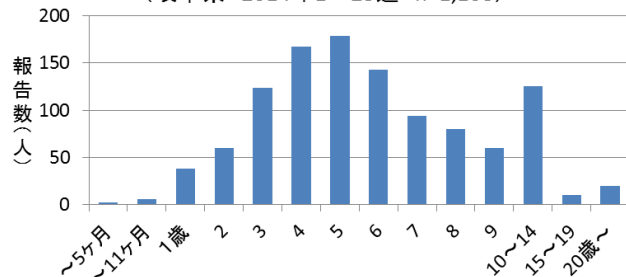
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者報告数(岐阜県)



保健所別 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者報告数 () 内は定点あたり報告数

保健所	23 週	22 週	21 週	20 週
岐阜市	9 (1.00)	7 (0.78)	15 (1.67)	17 (1.89)
岐 阜	10 (1.00)	17 (1.70)	13 (1.30)	11 (1.10)
西 濃	11 (1.22)	4 (0.44)	14 (1.56)	13 (1.44)
関	17 (3.40)	5 (1.00)	5 (1.00)	11 (2.20)
中 濃	1 (0.20)	3 (0.60)	6 (1.20)	1 (0.20)
東 濃	8 (1.60)	10 (2.00)	6 (1.20)	3 (0.60)
恵 那	4 (1.00)	7 (1.75)	4 (1.00)	3 (0.75)
飛 騨	2 (0.33)	3 (0.50)	4 (0.67)	2 (0.33)
岐阜県	62 (1.17)	56 (1.06)	67 (1.26)	61 (1.15)

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎年齢階級別報告数 (岐阜県 2014年1～23週 n=1,108)



《咽頭結膜熱》

◆ 先週から増加しています！

アデノウイルスの感染による発熱、咽頭炎、結膜炎を特徴とする疾患です。例年春から夏にかけて流行し、プールで感染することもあることから「プール熱」とも呼ばれます。

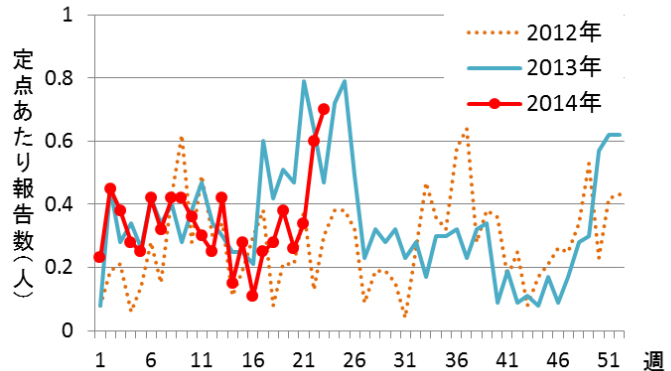
県内では、先週から急激に報告数が増加しており、岐阜市保健所、西濃保健所で報告数が多くなっています。

患者の年齢は1歳で最も多く、2～4歳でも多く報告されています。

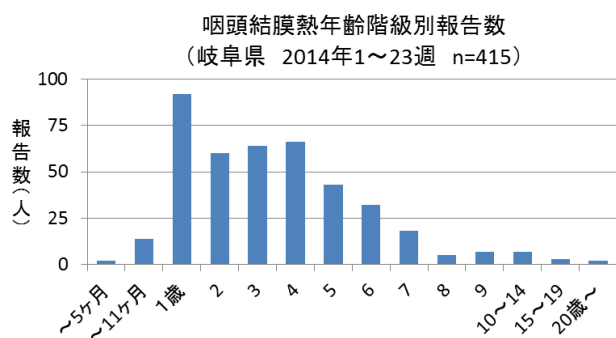
◆ 手洗いを励行し、タオルの共用は避けましょう。

原因ウイルスは患者の鼻水や唾液、目やに、便などに排出され、飛沫感染や接触感染により広がります。

咽頭結膜熱患者報告数(岐阜県)



手洗いを励行し、特に保育所などでは子ども同士でタオルの共用は避けましょう。プールでも、タオルや目薬の共用を避け、プールに入る前と入った後はシャワーで体をよく洗いましょう。また、おむつなど汚物の取り扱いにも注意しましょう。



保健所別咽頭結膜熱患者報告数

() 内は定点あたり報告数

保健所	23週	22週	21週	20週
岐阜市	14 (1.56)	13 (1.44)	4 (0.44)	4 (0.44)
岐阜	7 (0.70)	4 (0.40)	4 (0.40)	1 (0.10)
西濃	11 (1.22)	7 (0.78)	2 (0.22)	3 (0.33)
関	3 (0.60)	1 (0.20)	2 (0.40)	4 (0.80)
中濃	1 (0.20)	1 (0.20)	0 (-)	1 (0.20)
東濃	0 (-)	5 (1.00)	4 (0.80)	1 (0.20)
恵那	0 (-)	1 (0.25)	0 (-)	0 (-)
飛騨	1 (0.17)	0 (-)	2 (0.33)	0 (-)
岐阜県	37 (0.70)	32 (0.60)	18 (0.34)	14 (0.26)

★いずれも保育所や幼稚園に通う年代で好発しており、集団生活の中で感染が広がりやすい疾患です。保育所などでは予防に努めましょう。

感染症法における取扱い

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び咽頭結膜熱は、感染症法において5類感染症定点把握対象疾患に定められており、全国約3,100か所(岐阜県53か所)の小児科定点から毎週報告がなされています。

岐阜県感染症情報センター(岐阜県保健環境研究所) HP

<http://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/kenko-fukushi/hokekan/kansensyo/>